

2017年度 北河内地区中体連軟式野球部・春季大会規定及び注意事項

[大会規定]

- *大会規定は大阪中学校軟式野球大会に準ずる。なお7回同点の場合はタイブレーク（継続打順）を行う。但し同点の場合は決着がつくまでタイブレークを行う。
試合前のノックは7分間で行う。但し、試合の進行状況・会場の都合によっては5分間に短縮、若しくは行わないこともある。
- *登録メンバーは18名までとする（スコアラーも含む）。必ず背番号を着用のこと。
- *ベンチは組み合わせ数字の若い方の学校が一塁側とする。
- *選手、監督、コーチとも試合用のユニフォームを着用すること。アンダーシャツも必ず着用すること。
- *試合開始予定時間（義務審判試合）の1時間前には会場に必着のこと。但し、第一試合は8時到着でよい。
- *審判割り当てについては別紙の審判規定を参照する事。
- *試合後のグラウンド整備は、必ず当該試合の両チームで行うこと。
- *ノックを行った場合、グラウンド整備は必ず当該試合の両チームで行うこと。
- *試合中のスコア係、審判へのボール渡し等は、義務審判の両チームで生徒2名ずつ出して行うこと。
- *髪を染めたり、眉毛を細くしたり、またピアス、ミサンガ、リング、チタンネックレス等の不必要な物をつけているなど、校則を守れない生徒は本大会への出場を認めない。
- *雨天の場合は順延とする。朝7時（午後開始なら10時）に各中学校顧問より会場校の先生に確認の連絡をする。
- *本大会は時間制で行わない。
- *本大会で優勝、又は準優勝した学校は大阪春季練習大会に北河内地区代表として出場できる。
- *本大会の使用球はナガセケンコーボールB号とする。
- *1日に2試合行う場合は、同一投手の投球イニング数を合計9回までとする。（タイブレークは含まない）。

[注意事項]

- *極力試合のスピードアップを図るため、主に以下の点を選手に周知徹底させ、指導していく。
 - ・守備位置には必ずダッシュでつく。
 - ・ランナーコーチは円陣に入らずに速やかにコーチーズボックスに行く。
 - ・バッターズボックスをむやみに外さない。サインを見るときもその場で見る。
 - ・捕手はイニング間の投球練習を受ける前に必ずヘルメット、マスクをつけておき、味方の野手に声をかける時はホームベースより前に出ない。又、ファーストはラストボールの際ライトに転がさない。
 - ・正捕手が用具を付けている間、代わりの捕手は直ぐに投手の投球を受けに行く。
 - ・用具を付ける捕手は、必ずベンチ前で付ける。
 - ・投手はイニング間の投球を素早く投げ始める。
 - ・投手は不必要な牽制球を投げない。明らかに遅延行為とみなされるような投手の牽制球には一度注意をして改まらない場合はボークを宣告する。
 - ・投手は捕手からの返球をマウンド上で受け、捕手は返球する際にホームベースより前に出ない。
 - ・指導者のサイン交換も長くならないようにする。
- *ボークは注意を与えてからでなく、1回で宣告する。
- *試合中のボール回しは可。但し天候や、時間により中止することもある。
- *会場に到着したら試合球（新球の検定球2球）とメンバー表（公式戦用）は3部（本部・主審・相手校）記入し、本部に提出すること。
- *審判に入る先生方で、試合前に選手登録用紙とメンバー表を照らし合わせ、確認すること。
- *審判、監督の心構え一つで試合時間の短縮に繋がります。指導方よろしくお願ひします。なお、監督や審判の服装も規定通りお願ひします。きちんとされていない場合は没収試合とします。また、指導者の不適切な指導が合った場合は退場処分となります。あくまで公式戦ですので、指導者自らが範を示すようお願ひします。

[会場への車の乗り入れについて]

- *各学校とも駐車スペースが狭いため、車の乗り入れは顧問の先生のみ可とします（学校によっては顧問の先生の車も不可となります）。保護者の方の車の乗り入れは出来ません。その他の会場についても極力車で来校はお控えください。